

令和2年度
事業計画

社会福祉法人 ふらっと

社会福祉法人ふらっと 基本理念

1. 私たちは、ノーマライゼーションの理念や、ユニバーサルデザインの考え方を大切にし、全ての市民が住みやすい福祉社会の実現に向かって努力します。
2. 私たちは、あらゆる障害をもつ人々の「自立」や「地域生活」を応援します。
3. 障害当事者が当事者をサポートするイメージを大切にし、運営する施設の職員や相談員、介護スタッフも「できる可能性」を最大限追及し、前面に押し出しながら雇用の場も創出します。
4. 私たちは、松江市内に限らず、広域行政を意識しながら在宅支援のネットワーク化を図ります。

はじめに

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中でスタートする。世界的規模で様々な影響が叫ばれており、出来る限り早期に終息に向かい影響が最小限に収まることを願う。

その中でふらっとは、引き続き法人全体の目標を「あらゆる関係性において良好な関係を築くこと」として、今年度取り組むこととする。また、将来像をイメージしながら安定経営を目指し、今後の経営計画を考える一年とする。

引き続き目標にした「あらゆる関係性において良好な関係を築くこと」については、障がい者、家族、職員、事業所、行政、事業顧客、地域住民等あらゆる関係性を良好な状態に築くことで、法人の発展はもちろん、障がい者を含む地域住民の地域生活がより充実していく状況を作り出していけると考えるため継続して取り組んでいくこととした。

ふらっとは障がい者が中心となり立ち上げた社会福祉法人であり、入所施設から地域生活に移行する際、働く場所がなく、自分たちで自分たちの生活基盤を築くため思い切り働ける場所を作ってきた。同時に地域生活を自分たちだけのものとせず、誰にとっても豊かで希望のある生活を送ることが出来る場所になるように仲間を増やし、拡大してきた。そして地域社会に貢献することを意識し、主に障がい者分野の課題に取り組んできている。その流れはさらに拡がりを見せはじめ、関わる誰もが地域社会に貢献する意志を持ち行動出来る地元人として成長してきている。今後も地域の発展に寄与することができるよう、積極的にそれぞれの関係性を拡げていき様々な課題に対して先駆的に取り組んでいくこととしたい。

特に障がい者就労分野では一般就労を目指す人は、業種選択の幅も含め増加している。就労支援施策も一般就労を推進しており、企業の障がい者雇用機会も増加している。

しかし、一般就労が困難とされている障がい者が働く就労継続支援事業所へのニーズもまだまだ多い。障がい者の地域生活を充実したものにするためにも重要なものである。特にA型事業所の障がい者は、雇用契約を結んで働く従業員として事業を担う貴重な人材であり、働く環境においては、可能な限り企業同様の関係性構築やキャリアアップできる仕組みを作り出していく必要があると考える。障がい者の主体性を育みながら、地域に必要とされる事業を共に発展させ、継続して働ける環境を充実させていくことで、障がい者が誇りを持って働く場として、将来に希望の持てるよう充実させていく。

B型事業所についても基本的に同様の考え方をする中で、よりステップアップできる場所として様々な取り組みを行っていく必要がある。地域と繋がりを持ちながら連携した事業の開拓を進めていく。

そのような環境を充実させていくためには、支援に携わる職員も、貴重な人材として専門性を高め、支援力を磨いていく必要がある。障がい者の地域生活を推進していくためにも、同じ地域住民であることはもちろん、共に事業を発展させていく法人の一員として向き合い、自然な関係性を築きながら、障がい者の活きたい思いを支え、共に地域に貢献できる人材として成長してほしい。

法人としても将来に向けて、自ら行動していける高い意識を持つ次世代を担っていく人材を育成していく必要がある。研修機会や他法人との交流機会を設けながら、地域と連携した取り組みも増やしたい。地域の課題を障がい者と共に考え解決していくことにより、

障がい者の活躍の場に繋がるはずである。職員一人一人の目標を明確にしながら、個人やチームで取り組むことに自信や誇りを持てるように人材育成を進めていく。

また、昨年度から支援業務、事業活動業務の責任分担を明確化させた。個別支援の充実と就労事業収入の安定増収を同時に推進するには、体制の充実と役割分担の明確化が必要と考えたからである。十分な体制構築には課題もあるが、具体的成果が出ることを期待する。

障がい者ニーズの多様化は、就労分野に限らない。個人個人の生活スタイルは異なっており当たり前だし、サービス利用についても同様に様々なニーズがある。地域生活を望む障がい者がそれぞれの地域生活を実現し、充実したものにするためには、様々な課題がまだまだある。地域移行、共生社会の実現等の言葉は使われるが、生活基盤の一つである住居の課題については、公営住宅やグループホーム等の整備が追いついていない。また、高齢になった障がい者が介護保険の対象となり、地域生活の維持が難しくなってくることもある。実際ふらっとでも、年齢を重ね、両親も高齢になり、今後の地域生活をどのように考えていくか、といった課題も表面化してきている。

このような課題に対しても、相談支援事業等を通じて情報を集め、分析しながら、必要なサービスが充実するように、障がい当事者や福祉関係者だけでなく地域と連携した取り組みを実現していきたい。障がい者も地域住民として、地域課題の解決に向けて前向きに取り組んでいければ、障がい者の地域生活拡大も進みやすくなるだろう。法人としても取り組みを支えつつ、就労分野に限らず新たなサービスの開発にも目を向けていきたい。

法人の経営計画については、5年後10年後をイメージして具体的なものにする必要がある。役員も次年度は改選時期になる。経営状況は未だ厳しい中で、中小の社会福祉法人に課税する動きもある。人材不足も叫ばれる。そんな中でふらっとの今後をどうしていくか真剣に考える必要がある。役員のみでなく、現場で働く従業員も議論に加えながら次世代をイメージした理念に基づいた具体的な指針として計画したい。

これまで記したことを確実に具体的な形で取り組んでいくことで必ず経営的にも好転していくと信じる。

障がい者の地域生活を充実したものにするためにも、地域福祉の発展のためにも、法人全体で地域に必要とされる取り組みを実行していき、改善を進めていく。

社会福祉法人 ふらっと
理事長 新田 裕之

法人本部

1. 目的

社会福祉法人ふらっとが、社会貢献を実践するために、法人本部が担える役割を追求する。

法人の持続可能な経営が盤石なものとなるよう、計画的な経営を推進するために、適時・適切な会計業務の整備を、基幹的業務として担う。

また、時代の変化に対応した環境整備として、フェアで透明性の高い労務管理を行いながら、全職員の成長につながるよう高度な情報提供と事務処理を行う。

2. 目標

(1) 長期目標

- a. 職員一人ひとりが様々な場面で自立的に考えて業務にあたり、全員の力が一つになった地域No.1の法人
- b. 福祉に関わる誰もが「いつかはふらっとで働きたい」と思ってもらえる法人、職員にとって働きやすい法人

(2) 中期目標

- a. 職員に対する法人および各事業の理念の浸透
- b. 次世代幹部職員及び管理職の育成
- c. 社会福祉法人たる事業の実施
- d. 法人内情報システムのあり方の検討

(3) 本年度目標

- a. 本部機能の整理
 - ① 業務分担の明確化（事務分掌表の周知徹底）
 - ② 経理関係書類のチェック機能の強化
- b. ムリ・ムダ・ムラの削減
 - ① 保管書類の整理
 - ② 各事業所への改善提案・指示
 - ③ 報告・連絡・相談の徹底（法人内部及び事業所間）
- c. 年間スケジュールに基づいた業務の実施
- d. 計画的な資金繰り
- e. 各事業所の積極的な補助金・助成金活用の支援

3. 重点項目

(1) 課題解決

- a. 計画的な休暇の取得に関する情報提供、助言の実施
- b. 各種マニュアルの整備・強化・周知徹底
感染症発生時の体制整備、虐待・ハラスメント防止体制の強化 等

(2) 予算

- a. 設備支出 … 予定なし
- b. 備品支出

書類整理棚の購入（2台）	80,000円
機密文書の廃棄	40,000円
暖房器具の購入	10,000円

(3) 人材育成

- a. 適正な人員配置に関する助言
- b. 次世代幹部職員育成のための研修の実施・派遣・勤務調整

4. 実施事業

(1) 各種規程・規定の見直し

法改正等に対応した規程・規定の作成

(2) 理事・評議員会および監査

- a. 評議員会 年1回
- b. 理事会 年4回
- c. 法人監事監査 5月
- d. 実地指導監査 1月予定
- e. 内部監査 2月

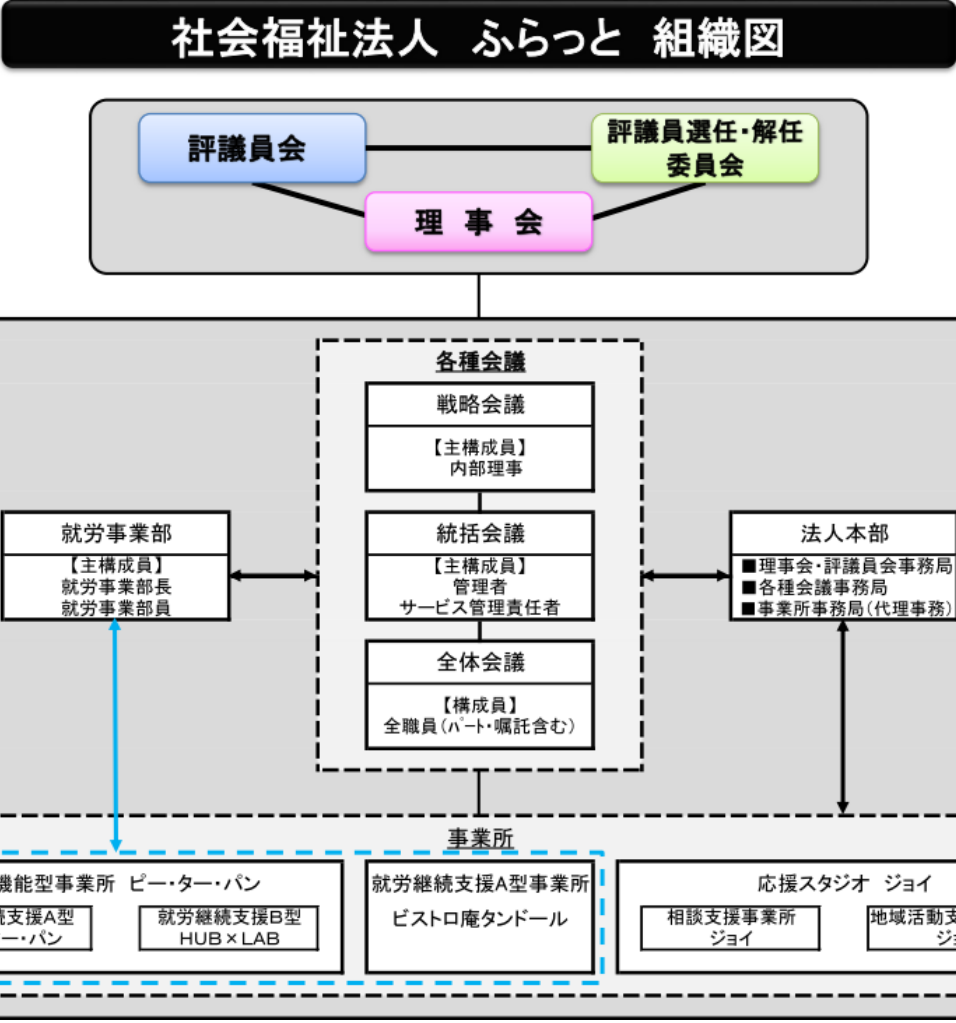
(3) 職員会議

- a. 戦略会議
法人運営を安定的、発展的に行うために、人事、経営戦略等を意思決定する。
- b. 統括会議
法人や各事業所の状況報告や課題提出を受け、連携して事業ができるように忌憚なく話しあえる会議にする。
- c. 全体会議
法人の運営方針を直接全職員に伝える機会である上、現場での気付きを共有し合える場を持つ。

5. 年間スケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市障がい者雇用支援事業費補助金実績報告（確定） ・退職金共済更新、掛金納付（4月中）⇒WAMNET ・事業報告書作成（～5月上旬） ・介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書（変更予定） ・処遇改善計画書（令和2年度分／4/15〆切 ※特例による提出期限延期） ・地域活動支援センター決算書（案）提出（松江市）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・決算 ・監事監査 ・賃金（工賃）実績報告（島根県） ・消費税支払（5月末）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市障がい者雇用支援事業費補助金申請 ・財務諸表電子開示システムによる情報公表（現況報告書、財務諸表） ・理事会及び定時評議員会（決算、事業報告） ・総資産額の変更届（法務局：6月末〆切）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・処遇改善加算実績報告（島根県） ・労働保険年度更新の申告（7/10頃締切） ・被保険者報酬算定基礎届（健康保険・厚生年金保険） ・36協定締結（労働局） ・高年齢者、障害者雇用状況報告（厚労省） ・障害者雇用納付金制度 報奨金申請 ・公益法人等の損益計算書等（税務署：7月末） ・ビストロ庵タンドール腸内細菌検査
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきプラザ報告書（8/31〆切） ・夏季休業（8/13～8/14）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険料率改正 ・理事会（第1次補正予算）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金改定 ・地域活動支援センター決算見込（松江市） ・実地指導監査（ピー・ター・パン）
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・年末調整（控除申告書の配付） ・ビストロ庵タンドール腸内細菌検査、ノロウイルス検査 ・インフルエンザ予防接種実施呼びかけ
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・年末調整（最終支払給与及び年税額算出） ・理事会（第2次補正予算） ・仕事納め（12/27）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事始め（1/6） ・法定調書（税務署）、給与支払報告書（各市町村）の提出 ・次年度の健康診断予約開始（生協病院） ・実地指導監査（本部）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・処遇改善計画書（島根県） ・内部監査 ・事業計画作成
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書（新年度分） ・松江市障がい者雇用支援事業費補助金実績報告（事前） ・理事会（予算、事業計画、第3次補正予算※必要な場合のみ） ・棚卸し

6. 組織図



相談支援事業所ジョイ

1. 目的

あらゆる関係性において良好な関係を築くこと。

2. 目標

(1) 支援事業

a. 長期目標

- ① 対象者の地域生活に必要な社会資源の課題の解決や開発を行政や関係者とともに行う。
- ② 対象者があらゆる関係者と適切なつながりをもつことができる関係性（支えるネットワーク）をつくる。
- ③ 事業所体制を維持する。

b. 短期目標

- ① 令和3年度松江市基幹相談支援センター立ち上げに向けて、関係者と協議しながら、相談支援事業所ジョイとしての役割を明確にする。
- ② 対象者はもちろん、場やチームに合わせて“柔軟”に、“しなやか”に対応する。
- ③ 事業所として独立採算に向けた取り組みを実施する。

3. 重点項目

(1) 課題解決

a. 役割分担

- ① 松江市の障がい者相談支援事業の委託を受け、相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他権利擁護のために必要な支援を行う（総合支援法に規定する基本相談業務）。また、サポートステーション絆からの派遣を受け、基本相談支援を行う。
- ② 月1回開催される松江市相談支援専門員協議会連絡会に参加し、相談員相互の交流を図り、関係機関との連携を密にし、相談員の資質向上と専門性の確立を図る。共に地域で暮らす者として、相互に安心して暮らせる地域社会の実現のために社会資源の課題や開発を行政とともに挙げる。
- ③ 事業所として独立採算に向けた取り組みを実施する。1カ月当たりの相談員1人当たりのモニタリング（更新等を含め）20件を目指す。具体的には以下の取り組みを行う。

- (a) 相談員個々の計画相談にかかわる担当件数を増やす。1人年間5～10件、全体で15～30件を目指す。
- (b) 適切なモニタリングを設定する。必要に応じて毎月～3か月モニタリングを実施。
- (c) 加算が設定された趣旨（対象者への理解を深め、よりよい支援を関係者同士がチームで提供する）を理解し、実践する。入院時連携、支援者会議、サービス提供時モニタリング、等。

(2) 予 算

a. 相談支援給付費収入

- ① 計画相談 … 800万円目標
- ② 松江市障がい者相談支援事業委託料 … 270万円
- ③ サポートステーション絆委託料 … 24万円
- ④ その他（IIJエンジニアリング相談、等） … 1万円

b. 設備支出

- ① 新規 … 予定なし
- ② 更新 … 予定なし
- ③ 買い換え … 予定なし
- ④ 修繕 … 未定

(3) 人材育成

a. 研修(事業所外)

- ① サポートステーション絆主催の研修会（関係機関との意見交換会、アセスメント力向上事例検討会、等）への参加（2カ月に1～2回程度）
- ② 松江市研修推進チーム主催の研修会への参加。
- ③ 島根県相談支援専門員協会主催の研修会への参加（2カ月に1～2回程度）。
- ④ 松江市相談支援専門員協議会主催の研修会への参加（連絡会開催時に合わせて開催予定）。
- ⑤ 相談支援専門員現認者研修への参加（今年度1名参加予定）。
- ⑥ 島根県相談支援従事者専門コース別研修「ファシリテーター養成研修」への参加（今年度1名参加予定）。

b. 研修(事業所内)

- ① 定期的にミーティングを行い、相談員個々の思考、技術等を磨き上げる。
- ② 2週間に1回、ケース会議を行い、相談員同士互いに尊重しながらも、もう一方で互いに自分を戒め、もう一度フラットに見つめ直す。

- ③ 毎朝の朝礼時に、1日の予定を確認する。スケジュールについては各相談員がパソコンに入力し、共通で閲覧し、把握する。

4. 実施事業

(1) 事業所内外

- a. 松江市障がい者相談支援事業委託（障がい者相談支援、サポート絆運営）
- b. 指定特定相談（計画相談支援、基本相談支援）
- c. 指定一般相談（地域相談支援）

(2) 利用者

- a. 障がい者
- b. 障がい児

(3) 各団体

- a. 島根県相談支援専門員協会会員（3名）
- b. 松江市相談支援専門員協議会会員（3名）
- c. 松江市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会就労移行検討チーム所属（1名）

5. 年間スケジュール

年間を通しての予定は特になし。

地域活動支援センター ジョイ

1. 目的

障がい者が気軽に集う場として事業を推進する。地域との繋がりを大切にしながら、誰もが楽しめる場所とする。

2. 目標

(1) 長期目標

障がい者が地域との繋がりをもちながら充実した地域生活を継続して送ることができるよう、様々な活動機会を創出していく。

(2) 短期目標

健康維持と文化的活動を軸に、障がい者当事者が主体的に地域生活の充実に必要な機会や環境づくりを地域住民と共に考え、活動できるようにする。

3. 重点項目

(1) 課題解決

- a. 地域との連携により各種教室や文化的活動等を企画し、利用者の増加を図っていく。
- b. 障がい者当事者が主体的に地域生活の充実に必要な機会や環境づくりを地域住民と共に考え、活動フィールドを広げることができるよう設備や環境を整えていく。
- c. 合理的配慮動画の製作、啓発活動
- d. 地域生活における意識調査の実施

(2) 予算

- a. 活動支出 … 教室講師謝金 240,000円 (@20,000*12ヶ月)
- b. 設備支出

パソコン設備更新（中古対応）、研修用ソフトウェア、タブレット、モニター等の導入検討 180,000円 (@15,000*12ヶ月程度で検討)

4. 実施事業

- (1) パソコン教室
- (2) 健康維持活動（体操教室 毎週木曜日開催）
- (3) 各種教室や文化的活動企画（アクセサリ作り、地酒マイスター、味噌作り体験会、等）

- (4) 合理的配慮動画の製作、啓発活動
- (5) 障がい者による情報収集・発信（他事業所連携による企画の実施）
- (6) 障がい者や障がい者団体諸活動の支援
- (7) みんなの地域生活課題を考える機会の創出

多機能型事業所 ピー・ター・パン

就労継続支援A型事業所 ピー・ター・パン

1. 目的

利用者の皆様にとって、理想の職場と実感できるような環境を築きあげることが使命であり、利用者と職員が一体となって、仕事を通じて豊かな人生を築くことを追求していく。

地域において、ピー・ター・パンの存在価値がかけがえの無いものとなるよう、付加価値を追求する。

2. 目標

(1) 支援事業

a. 長期目標

- ① 利用者がやりがいをもって働けるよう、職場環境改善に継続的に取り組む。
- ② 利用者が自分のことは自分で決められるよう、適切な助言や傾聴と共感の支援技術をもって支援を行う。

b. 短期目標

- ① 利用日数や利用時間を増やしたいという要望をかなえられるよう、支援と業務確保を充実させる。
- ② 新規利用希望をかなえられるよう、支援と業務確保を充実させる。

(2) 就労事業

a. 長期目標

- ① 新規事業開拓に積極的に取り組み、成長を続ける事業所を目指す。
- ② 地域No.1になれるよう、スタッフ全員がマーケティング意識をもって事業に取り組む。

b. 短期目標

年間売上目標 6,000万円

【内訳】

D T P	3,900万円
マテリアル	2,000万円
その他新規事業	100万円

3. 重点項目

(1) 課題解決

a. 新規事業展開

① ウエアプリント

ブラザー機の入替えを機会に、新たなマーケットを模索する。

② 3Dプリント

ゆめいくワークショップ助成金交付の決定により、福・学・産連携事業の推進、新規事業展開の推進を図る。

③ 設備整備

清水基金助成金申請を「プリント事業」とし、DTPとマテリアルを包括した事業として満額助成を狙って申請する。

b. 収益確保の取り組み

① 優先調達法の効果で見積り案件は増加傾向にあるが、他のB型事業所との価格差が著しく必ずしも成果に繋がっていない。また、発注者側の認識も薄い。今後全国的な課題となる可能性もあり、動向を見ながら対応していく。

② 営業力強化を図っていくため、従業員の営業視点の研修機会を設けながら、顧客サービスの充実を図っていく。

③ 新規事業への展開も地域に必要とされるサービスの準備を進めていく。

④ 出来ること、得意なことを商品化することにより、収益増をねらう。

⑤ コスト削減

(a) 製作時のロスを徹底的に削減

印刷に関しては、指示書確認不足による印刷枚数の間違い、内校ミスでの誤刷など。ウエアプリントでは難易度が高くロスが予想される案件については外注。製作時のミスに関しては各部所に責任者を配置するなどして工程チェックの徹底を行う。

(b) 外注費削減

内製不可案件については印刷会社の協力を得て、通常価格より安く仕入れ外注費を落としている。マテリアル製品については、設備整備が整い、特殊素材へのプリント以外は内製可能になっている（難易度の高いモノは除く）。

⑥ 売り上げ拡大

(a) 営業範囲拡大で売上増

(b) 3Dプリンター事業

c. 営業戦略

- ① スサノオマジックのブースターは増えてはいないが、物販の売上は延びている。これによりチームからの案件受注を継続して細かく利益確定させる。
- ② あいサポート研修を受講する企業、団体を増やす。
- ③ 郵便局との取引を拡大する（奥出雲地域活性化プロジェクト）。
- ④ 外注先の営業マンに当事業所の設備と製品をPRし、印刷やウェアプリントの注文増。営業人員不足を補うため今後も各方面と交流を持ち案件を取る。
- ⑤ 印刷事業を行う他福祉事業所と連携し、印刷案件確保を図る。
- ⑥ ウェアプリントに特化することで、迅速なイメージ案提供やサンプル提出など、他社ができないことで差別化を図り受注を増やす。県央、県西部への営業活動を行う。
- ⑦ しまね故郷名刺を細かく各圏域用に計画する（システム化計画を図る）。
- ⑧ 新規開拓と既存客のリピート率を上げるのにDMを活用する。
- ⑨ 養護学校、福祉事業所などへの積極的な商品提案を行う。
- ⑩ 優先調達推進法の徹底を関係機関へ図り、確実に売り上げにつなげる。
- ⑪ WEBによる情報発信を行う。
- ⑫ 地元アーティストの作品を商品化し販売する。
- ⑬ ピー・ター・パンでのものづくり体験を通して、地域住民との関わりを強め福祉への理解を深めてもらう。
- ⑭ 3Dプリンター事業に取り組む。

(2) 予算

a. 設備支出

① 更新

(a) ブラザー機撤去 … -1,200,000円

② 買い替え

(a) ブラザー機代替え … 1,500,000円

(b) プレス機2台 … 400,000円

③ 修繕 … 予定なし

b. 備品支出

パソコン6台 … 720,000円

c. 建物修繕 … 300,000円

d. 車両 … 該当なし

e. 販売促進 … 936,000円

(3) 人材育成

a. 研修

① サービス管理責任者研修

b. 会議・ミーティング

① 現場会議 週1回

② 事業所内職員研修

4. 実施事業

(1) 避難計画・訓練

危機管理マニュアルを整理し、施行できるようにする。

(2) 利用者

利用者勉強会

(3) 各団体

a. 松江市A型事業所連絡会（松Aネット）への参加

b. 島根県障がい者就労事業振興センターとの連携

5. 年間スケジュール

4月	避難訓練
5月	GW休暇 故郷名刺改訂
6月	
7月	
8月	夏季休暇
9月	
10月	避難訓練 スサノオ開幕 実地指導監査
11月	年賀状受付開始
12月	冬期休暇
1月	冬期休暇
2月	
3月	

就労継続支援B型事業所 ピー・ター・パン（HUB＊LAB）

1. 目的

事業所名Hub×Labのコンセプトを下記のように解釈し、新しい、魅力的な仕事づくりに取り組む。

・Hub…コミュニティの創造を軸とし、広い視点を持って福祉の連携拠点としての役割を果たせるよう活動する。

・Lab…障がい者の働きやすさや生活のしやすさを探求・追求する。

2. 目標

(1) 支援事業

a. 長期目標

- ① 利用者のやりたいこと・したいことを実現することに全力で取り組む。
- ② 利用者主体の寄り添う支援を基本的スタンスに、B型事業所の理想の姿を追求する。

b. 短期目標

利用者が来たくなるサービスを追求し、地域のB型事業所でNo.1になれるよう、存在意義を見出していく。

(2) 就労事業

a. 長期目標

- ① 利用者の皆様が仕事の魅力を実感できるような事業を展開する。
- ② 工賃でも地域No.1になれるよう、スタッフ全員がマーケティング意識をもって事業に取り組む。

b. 短期目標

どんな仕事がHub×Labを輝かせるのか、2020年度のうちに見出すために新規事業を検討する。

3. 重点項目

(1) 課題解決

- a. 新規利用者の獲得。期中目標稼働率80%。
収支の適正化のため、利用率の向上を図る。
- b. チーム力のアップ。期中に事業所運営の方向性を確立させる。

(2) 予算

- a. 設備支出

- ① 更新
 - (a) 通信費 200,000円
 - (b) 新規事業研究・開発費 300,000円
 - (c) 備品購入費 200,000円

② 買い替え … 予定なし

③ 修繕 … 予定なし

b. 販売促進 … 未定

(3) 人材育成

a. 研修

① サービス管理責任者研修

b. 会議・ミーティング

① 工賃評価会議 年3回

② スタッフミーティング 月1回

③ 事業所内職員研修

4. 実施事業

(1) 事業所内外

a. 業務支援ソフト導入

① 個別支援計画の充実

② 支援記録の充実

b. 避難計画・訓練

(2) 利用者

利用者勉強会

(3) 各団体

a. NPO法人福祉ネットだんだんネへの参加

b. 島根県障がい者就労事業振興センターとの連携

5. 年間スケジュール

4月	
5月	G W休暇
6月	工賃評価
7月	
8月	夏季休暇
9月	
10月	工賃評価
11月	
12月	冬期休暇
1月	冬期休暇
2月	工賃評価
3月	

就労継続支援 A 型事業所 ビストロ 庵タンドール

1. 目的

あらゆる関係性において良好な関係を築くこと

2. 目標

飲食店として、地域に根差した場所として「行きたいお店」、「働きたいお店」となるよう、常にバリアフリーであり続ける努力をする。

「働く姿勢」を通して、社会にも「働く感動」を与えていく。

安定した「働いていける飲食店」の継続運営のため、再来年度の10周年に向けての店舗としての方向性、店内の個室化や店名の変更などを含めた打ち合わせ等を計画立てていく。

(1) 支援事業

a. 長期目標

「飲食店で働きたい」スタッフに社会の一員として、自信と誇りを持って生き生きと働けるよう支援していく。

b. 短期目標

個々の可能性を活かし、自分の役割を見つけ、育て、継続することが出来る環境作りをしていく。

(2) 就労事業

a. 長期目標

家族や友人、職場等、親しみやすいメニューで、お一人様でも団体様でもあらゆる用途でご利用いただける工夫をしていく。

b. 短期目標

店舗営業とは別の売上確保として、弁当事業を進めていく。デイリー、市役所販売、その他の充実を図る。

3. 重点項目

(1) 課題解決

a. ディナーメニューの変更

庵タンドールスタッフの利用年数も長くなり、技術的にも出来る事が増えてきた。飽きられないよう、ディナーメニューを新しくし、更なる成長とお客様の満足度、売上UPを図る。

- b. デジタルサイネージ、食べログの活用の仕方を見直す
 - ① デジタルサイネージ … 4月メニュー変更後から新しい内容で使用する。
 - ② 食べログ … WEB予約を始めて、メニュー写真も新しく変更する。
- c. 原価率を低下させ利益率UPを図る
 - ① 食材原価をベースに、日々の消耗品、ランニングコストの見直しをスタッフ間で意識統一を図る。
 - ② 食材の保管の仕方、過剰在庫を見直し、ロスを減らす。

(2) 予 算

a. 売 上

年間目標 3,440万円

【内訳】

ランチ	620万円
ディナー	2,150万円
イベント	300万円
弁当	230万円
市役所販売弁当	140万円

b. 支 出

- ① 設備修繕
 - (a) ガスコンロ修繕費 … 30万円
 - (b) 害虫駆除 … 10万円
- ② 8周年イベント費用 … 10万円
- ③ 販売促進
 - (a) 食べログ活用 … 33万円 (月27,500円×12ヶ月)
 - (b) DM郵送料 … 8万円 (周年、忘年会、年賀状)

(3) 人材育成

スタッフ間でのコミュニケーションの強化
 役職、ポジションの仕事内容の振り分け
 福祉、飲食店のどちらのサービスも強化

b. 研 修

社会福祉協議会等の研修に積極的に参加する。

c. 会議・ミーティング

- ① 職員会議 … 毎月1回

② 個別支援会議 … 年2回以上

③ 現場ミーティング

4. 実施事業

(1) 事業所内外

a. 健康診断 (年1回)

b. 防災訓練 (年1回)

(2) 利用者

レクリエーション (食事会等)

(3) 顧客

8周年の案内、忘新年会の案内、年賀状のDM送付のための顧客管理を積極的に行う (飲み放題会員取得、ランチカード会員取得等)。

(4) 各団体

a. スサノオマジック会場販売

b. 各種イベント販売活動

5. 年間スケジュール

4月	ディナーグランドメニュー変更
5月	8周年イベント
6月	梅雨のスタミナコース
7月	ビアホールプランコース 腸内細菌検査
8月	ビアホールプランコース
9月	
10月	ランチメニュー変更
11月	忘年会コース 腸内細菌検査、ノロウイルス検査
12月	忘年会コース クリスマスディナー
1月	お年玉企画 2021円コース 新年会コース
2月	バレンタインビュッフェランチ
3月	春コース

	防災訓練
--	------

就労事業部

1. 目的

ふらっと全体の組織力の向上。協力して売上向上を目指す。

2. 目標

各事業所の売上向上に繋がる計画実行

(1) 市役所弁当販売リニューアル

庵タンドールの魅力を感じられ、付加価値の高い弁当を開発する。

(2) しまね故郷名刺システム化

しまね故郷名刺のサービスをさらに向上させることで、名刺の安定的収益向上に繋げる。

(3) ふらっと全事業所ホームページ等のリニューアル

各事業所のホームページ等をリニューアルすることで、情報発信力、営業力強化に繋げる。

(4) 令和3年、第3回国宝松江城リレーマラソンへふらっととして参加

(各事業所より職員、利用者が参加することとする。) スポーツを通して健全な肉体と精神を養う。ストレス発散、体力向上に努め、日常業務における各事業所間の連携を図る。

3. 予算

販促費 … 50万円